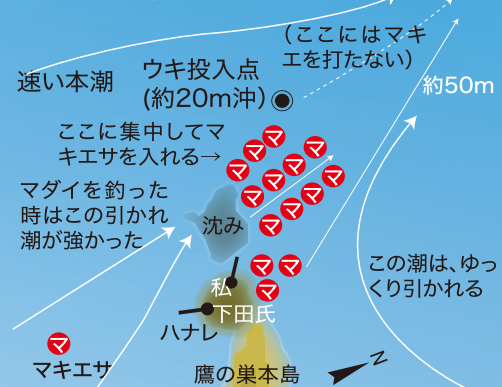
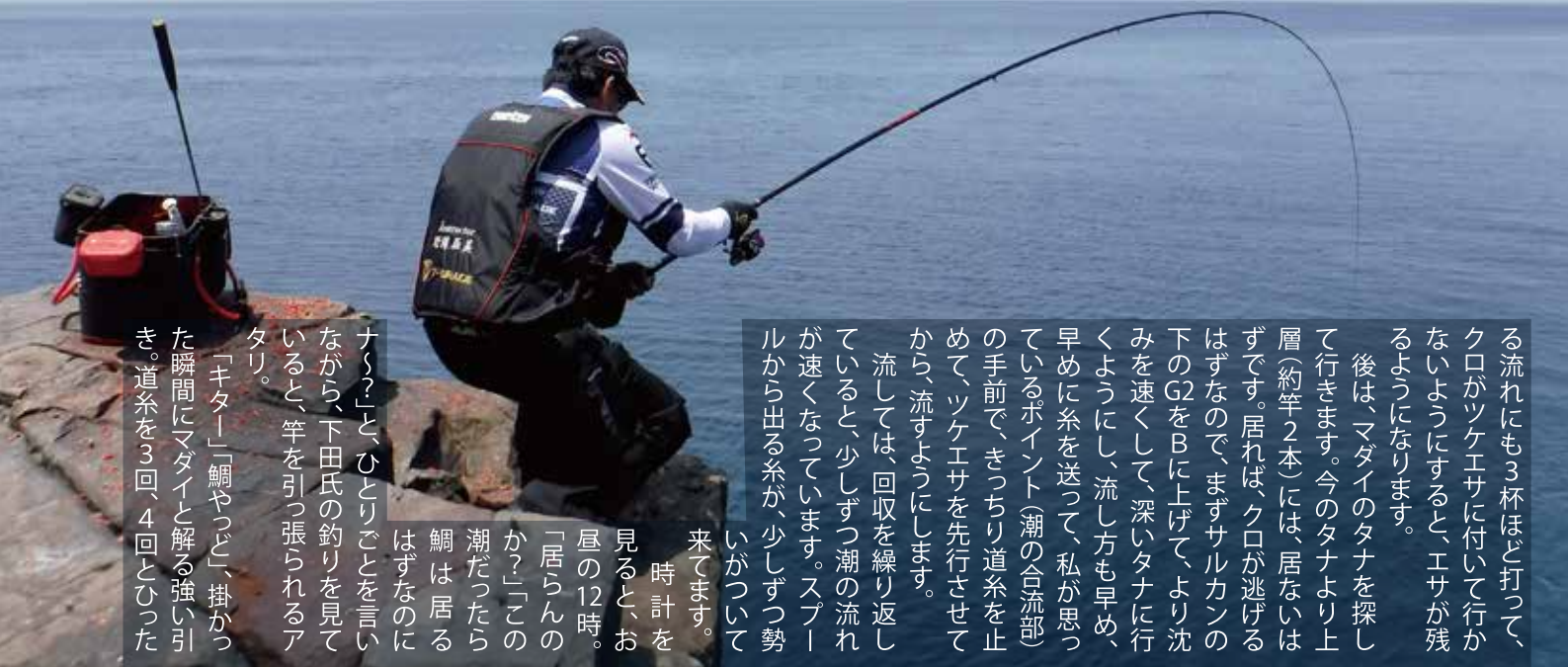


★マダイを
釣った時の潮

この辺でマキエと仕掛けが合流する予定→



エサ3杯をウキより手前の潮上に打って流していきます。
すると、まずは、クロ。次にハリを大きくしてツケエサをアピールさせ、先ほどのマキエサよりさらに手前にマキエサを入れます(ウキとマキエサを4mほど離します)。それでもクロ。
次にハリスにジリタン5号を2個均等打ちして、自然な落ち込みではなく、仕掛けをたてる感じにすると、ツケエサが残って来ます。これを繰り返していると、エサが盗られたり、残って来たり。エサを盗っているのは、おそらくクロ。マダイではないと判断し、ハリをもう一度小さく、6号から5号に落すと、やはりクロ。クロがどうしてもじゃまをするので、仕掛けを遠投した後、マキエサを3杯から5杯にして、さらに仕掛けがなじんで、沈み始める前に、マキエサを5杯(同じポイント)。それと、足元から沖に出



る流れにも3杯ほど打って、クロがツケエサに付いて行かないようにすると、エサが残るようになります。

後は、マダイのタナを探して行きます。今のタナより上層(約竿2本)には、居ないはず。居れば、クロが逃げるはずなので、まずサルカンの下のG2をBに上げて、より沈みを速くして、深いタナに行くようにし、流し方も早め、早めに糸を送って、私が思っているポイント(潮の合流部)の手前で、きっちり道糸を止めて、ツケエサを先行させてから、流すようにします。

流しては、回収を繰り返しているのと、少しずつ潮の流れが速くなっています。スプールから出る糸が、少しずつ勢いがついて来ます。

時計を見ると、お昼の12時。

「居らんのか?」この潮だったら鯛は居るはずなのに

「キター」鯛やっど、掛かった瞬間にマダイと解る強い引き。道糸を3回、4回とひた

くって行きます。ここから先はもう糸を出しません。多めに糸をくれてやると、ゆるんだ時にハリハズレの危険があるので、ここからは、強引に寄せます。50センチは超えるいい鯛です。これで納竿です。ただ、これはあくまでも私なりの釣り方ですので、参考にしていただければ幸いです。



〈最後に〉
同行の下田氏は、クロを20枚超えの釣果で「最高です。クロ釣りは楽しいスッ。」と興奮気味で、最後の私のマダイを見て、「鯛もいいですね。引きが強いですね」と、まじまじと見ています。

冬場はクロ一色ですが、春から梅雨にかけて、クロプラスαの釣りが楽しめます。ぜひ、クロ、マダイ、イサキと狙ってみては、いかがですか。案外狙って釣るのは、難しいですが、クロ釣りの基本がある程度分かっているれば、誰でも釣れます。頑張ってみて下さい。



クロ+α=立派なマダイ!!

マックフロートマスターⅡ フッソ/チタン (釣研)

*マキエを自由自在に遠投!!

■遠投性、疲れにくさをさらに低減した新型シャフト ■エサ離れ抜群のフッソと圧倒的な軽さ・エサ切れ抜群のチタン ■軽量で手になじむオリジナルグリップ